

将来のためのワークショップ（5年生）レポート

今の夢 仕事に就いてからの夢

- ・高校時代になりたい職業について夢を持ちます。そして、仕事に就いて高みを目指してもう一段階高い夢を持ちます。そんなお話しでした。

1 講師の先生の今までとこれから



もっと、たくさんの人を助けたい

進路選択に必要なこと

2 医師にないたかった理由

- ・ 幼い頃は、小児ぜんそくで
たくさん病院に入院した。そして、
病気を治される立場から
直す側になりたいと思った。



3 質疑応答

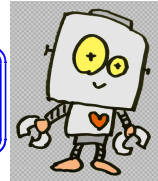
Q：中等生は、先生のように経験が豊富でない生徒が多いように思います。経験が少ない生徒が、医師を目指したいと思ったとき、どんな風に考えればよいですか？

A：医師は、たいへん困難な仕事です。難しい仕事に挑戦する気持ち、未知へ挑戦する気持ちがあれば、それで十分だと思います。

病気は、5万くらいあると思いますが、実際に直し方が確立している病気は本当に少ないのです。そんな未知への挑戦に挑む気持ちがあればいいと思います。それと共に、「人が好きである」「人を救いたい」という気持ちも重要です。



好奇心・挑戦する気持ちが大切



AIが発達しても人との関わりは必ず残る

Q：AIの発達によって医師の仕事は、どのように変化しますか？

A：AIが発達しても医師の仕事はなくならないと思います。それは、人の人生と向き合うのは、人だからです。特に重要なのは、人の最後の場面です。「死」です。死に直面することは人にしかできません。死亡診断書を書くのは医師です。とても重要な仕事です。また、怪我などの機動性がものをいう場面がたくさんあります。これも人にしかできません。

Q：医師不足を補うためには、予防に力を入れた方がよいでしょうか？また、よい医師とはどんな医師ですか？

A：その通りです。予防コストと治療コストでは、予防の方が遙かに少ないコストで済みます。しかし、それができないのが人間なのです。そこにも医療の難しさがあります。医師は難しい仕事です。悪い医師とは、簡単に物事を決めてしまう医師かもしれません。治療や病気には様々な要因が含まれます。あーでもない、こーでもないとなかなか決断できない医師がよい医師かもしれません。

人間のもつ感情を大切にして よいよい方法を見つけよう